

第13回 香川県立病院経営評価委員会会議次第

日時：平成29年8月31日(木)14時00分～

場所：香川県社会福祉総合センター 7階 第2中会議室

1 開 会

2 会長の選任

3 あいさつ

4 議 題

(1) 平成28年度県立病院事業決算（見込み）について

(2) 第3次県立病院中期経営目標及び中期実施計画の実施状況について

(3) その他

5 閉 会

(配布資料)

資料1 平成28年度県立病院事業会計決算見込みの概要

資料2 中期実施計画の主な取組み

資料3 収支計画の達成状況

資料4 中期指標の達成状況

香川県立病院経営評価委員会委員名簿

氏 名	職 業 等
<p>おかざき み え こ 岡崎 美恵子</p>	<p>公認会計士</p>
<p>くめがわ はじめ 久米川 啓</p>	<p>一般社団法人香川県医師会 会長</p>
<p>さなぎ すずむ 佐柳 進</p>	<p>特定医療法人茜会 昭和病院 院長</p>
<p>たにだ かずひさ 谷田 一久</p>	<p>株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役</p>
<p>なかの みちよ 中野 実千代</p>	<p>香川県母子愛育連合会 副会長</p>
<p>まなべ ようこ 真鍋 洋子</p>	<p>アイル・パートナーズ株式会社 代表取締役会長</p>
<p>わだ よりとも 和田 頼知</p>	<p>有限責任監査法人トーマツ大阪事務所 ヘルスケアコンサルティング パートナー</p>

(委員は、五十音順)

平成28年度県立病院事業会計決算見込みの概要

① 収益的収支の状況

(消費税抜、単位:百万円、%)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	伸 率	
病院事業収益	医業収益	20,010	19,842	168	0.8
	うち入院収益	13,309	13,239	70	0.5
	うち外来収益	5,970	5,860	110	1.9
	医業外収益	4,159	3,964	195	4.9
	うち一般会計繰入金	2,533	2,440	93	3.8
	特別利益	679	335	344	102.7
	総収益	24,848	24,141	707	2.9
病院事業費用	医業費用	24,571	24,078	493	2.0
	うち給与費	12,950	12,768	182	1.4
	うち退職給付費	1,104	1,135	△ 31	△ 2.7
	うち材料費	6,263	5,962	301	5.0
	うち経費	2,977	2,931	46	1.6
	うち減価償却費	2,176	2,219	△ 43	△ 1.9
	医業外費用	1,019	986	33	3.3
	特別損失	427	971	△ 544	△ 56.0
	総費用	26,017	26,035	△ 18	△ 0.1
	総収支	△ 1,169	△ 1,894	725	
累積欠損金	△ 19,995	△ 18,826	△ 1,169		

② 病院ごとの収支状況

(単位:百万円)

病 院 名	項 目	平成28年度	平成27年度	増 減	主 な 増 減
中央	総収益	20,530	19,770	760	【収益】 ・入院収益 + 62 ・外来収益 + 164
	総費用	21,250	21,279	△ 29	【費用】 ・給与費 + 147 ・材料費 + 310 ・経 費 + 30 ・特別損失 △ 547
	収支差	△ 720	△ 1,509	789	
丸亀	総収益	1,595	1,595	0	【収益】 ・入院収益 + 22 ・外来収益 △ 26
	総費用	1,787	1,791	△ 4	【費用】 ・給与費 △ 8 ・材料費 △ 12 ・経 費 + 17
	収支差	△ 192	△ 196	4	
白鳥	総収益	2,723	2,776	△ 53	【収益】 ・入院収益 △ 15 ・外来収益 △ 29
	総費用	2,980	2,965	15	【費用】 ・給与費 + 43 ・材料費 + 4 ・経 費 △ 1
	収支差	△ 257	△ 189	△ 68	
合計	総収益	24,848	24,141	707	
	総費用	26,017	26,035	△ 18	
	収支差	△ 1,169	△ 1,894	725	

③ 患者数・診療単価・主な指標の状況

区 分	入 院									外 来						主な指標			
	延患者数(人)			稼働病床利用率 (%)			診療単価(円)			延患者数(人)			診療単価(円)			項目	平成28年度	平成27年度	28計画
	平成28年度	平成27年度	増 減	平成28年度	平成27年度	増 減	平成28年度	平成27年度	増 減	平成28年度	平成27年度	増 減	平成28年度	平成27年度	増 減				
中央病院	156,657	160,667	△ 4,010	85.2	87.1	△ 1.9	71,442	69,270	2,172	251,611	257,945	△ 6,334	19,282	18,172	1,110	經常収支比率(%)	94.4	95.0	94.9
丸亀病院	40,825	39,991	834	71.7	70.0	1.7	15,796	15,564	232	29,937	31,563	△ 1,626	10,006	10,312	△ 306	医業収支比率(%)	83.3	83.9	83.8
白鳥病院	33,514	33,716	△ 202	61.2	61.4	△ 0.2	43,921	44,089	△ 168	103,201	105,399	△ 2,198	7,934	8,039	△ 105	人件費比率(%)	51.1	50.2	52.0
合 計	230,996	234,374	△ 3,378	78.1	79.1	△ 1.0	57,614	56,484	1,130	384,749	394,907	△ 10,158	15,516	14,839	677	参考 損益(28年度2月補正比)	28決算 △ 1,169	28補正 △ 1,494	増減 325

参考 香川県立病院の現状とこれまでの取組み

(1) 香川県立病院の現状等

平成 29 年 3 月 31 日現在

項 目	中央病院 (県の基幹病院)	丸亀病院 (県の精神医療の基幹病院)	白鳥病院 (特色ある地域の中核病院)
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、肝臓内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、頭頸(けい)部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科 (32科)	内科、心療内科、思春期心療内科、精神科、リハビリテーション科、歯科 (6科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (12科)
許可病床数	一般 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床) (稼働 506 床〔うち結核 5 床、感染症 2 床〕)	精神 215 床 (稼働 156 床)	一般 150 床 (稼働 150 床)
主な指定等	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センター ・基幹災害拠点病院 ・へき地医療支援センター ・地域がん診療連携拠点病院 ・DPC 適用病院 (Ⅱ群) ・地域医療支援病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急拠点病院 ・精神科救急輪番病院 ・精神科救急情報センター ・精神結核合併症患者への対応 ・医療観察法 (通院・鑑定) ・応急入院指定病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院群輪番制への参加 ・へき地医療拠点病院 ・無医地区への巡回診療 ・SARS 病床の設置 ・大川地区小児夜間救急医療への参加 ・広域救護病院 等

(2) 県立病院のこれまでの取組み

	第1次					第2次				第3次	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
中央病院	基本構想策定	基本計画策定	設計発注	基本設計	実施設計	確認申請 工事発注	建築工事		開院準備	開院	第一種感染症病棟整備
丸亀病院		あり方検討		急性期治療病棟設置		思春期・ストレスケア病棟設置					
	6病棟体制		5病棟体制 (1病棟閉鎖)		4病棟体制 (1病棟閉鎖)				3病棟体制 (1病棟休止)		
白鳥病院	基本計画策定	設計発注	基本設計	実施設計	工事発注	建築工事	開院準備	開院			

中期実施計画の主な取組み

病院局

区分	平成28年度の主な取組み	平成29年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の育成による看護水準の向上(脳卒中リハ分野の長期研修派遣) 医療安全研修会の開催、医療事故防止マニュアルの充実 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携体制強化 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央病院HCU稼働、白鳥病院地域包括ケア病床稼働に向けた支援 中央病院における病院機能評価取得に向けた院内整備支援 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の育成による看護水準の向上(感染管理分野の長期研修派遣) 医療安全研修会の開催、医療事故防止マニュアルの充実 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携体制強化
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連大学との連携強化、臨床研修への取組み <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習受け入れの推進、県立保健医療大学との連携強化 県内外の看護師養成機関等を訪問するなど採用活動の強化 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者の適正な配置 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 白鳥病院における泌尿器科医師の確保 県障害福祉課による香川大学医学部の寄附講座を通じた診療確保への取組み <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの積極的な受入れ、施設見学会(中央病院ホスピタルツアー)の実施 看護師採用試験における専門試験の廃止 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内保育所の充実(保育時間の延長、夜間保育回数増の検討、一般会計繰入金の活用) 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> DMATチームの充実・拡充(+1チーム) 全ての病院での業務継続計画(BCP)の策定、計画の自己評価を実施 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一種感染症病棟及び医療機器等の整備完了 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時備蓄物資等にかかる一般会計繰入金の活用検討 業務継続計画(BCP)の見直し
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営会議・経営評価委員会の開催 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 未稼働病床の早期稼働の検討、一般会計繰入金の確保、補助金等活用 未収金の発生防止と回収促進、高度医療機器の計画的整備・有効活用 資産の有効活用 旧中央病院の知事部局への有償移管(4月)、塩上町医師公舎の売却(6月) <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的な業務執行による人件費の適正化 後発医薬品の採用拡大などによる薬品費の節減の取組み ベンチマーク導入や統一単価による診療材料費の節減、医療機器保守契約の見直し 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営会議・経営評価委員会の開催 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 未稼働病床の早期稼働の検討(HCU、緩和ケア)、一般会計繰入金の確保、補助金等活用 医療機器の計画的な整備のため各病院の要望提出時期の前倒し 旧津田病院医師公舎の売却(4月)、丸亀病院医師公舎の売却に向けた準備 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料のベンチマーク導入及び共同購入による価格交渉力の強化(中央、29年7月～) 医療機器の高額な保守委託料の見直し(中央、29年4月～) <p>④資金収支の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期預金の部分的な長期預入による運用益の確保(29年5月～)

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計画差の要因、取組み等	
									H28計画差	H28前年度差
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			24,111	24,523	24,733	24,444	25,041	737	
	実績	23,044	24,141	24,848					707	
医業収益 (A1)	計画			20,346	20,572	20,697	20,807	21,291	132	
	実績	19,752	20,191	20,478					287	
入院収益	計画			13,616	13,998	14,112	14,209	14,692	△ 307	新入院患者数は前年比+104人であるが、平均在院日数の短縮により延患者数が計画比△13,043人となった。
	実績	13,216	13,239	13,309					70	
外来収益	計画			5,488	5,522	5,533	5,544	5,533	482	延患者数が計画比△649人であるが、中央病院での抗がん剤治療や放射線治療の増により外来単価が伸びた。
	実績	5,483	5,860	5,970					110	
その他医業収益	計画			1,242	1,052	1,052	1,054	1,066	△ 43	
	実績	1,053	1,092	1,199					107	
一般会計負担金	計画			486	289	289	289	289	△ 18	救急運営費のH27実績に基づく繰入額が、新中央病院移転後の対象経費等見直しにより、前年度に比べ増加した
	実績	289	349	468					119	
その他	計画			756	763	763	765	777	△ 25	
	実績	764	743	731					△ 12	
医業外収益 (A2)	計画			3,594	3,951	4,036	3,637	3,750	97	
	実績	3,220	3,615	3,691					76	
一般会計繰入金	計画			2,035	2,232	2,232	2,232	2,232	30	
	実績	2,127	2,091	2,065					△ 26	
負担金	計画			2,033	2,230	2,230	2,230	2,230	30	パート医師確保にかかる経費の増加に伴い、繰入金が増加した。
	実績	2,124	2,089	2,063					△ 26	
補助金	計画			2	2	2	2	2	0	
	実績	3	2	2					0	
長期前受金戻入	計画			1,036	1,149	1,234	835	948	4	
	実績	562	1,002	1,040					38	
その他医業外収益	計画			523	570	570	570	570	63	
	実績	531	522	586					64	
特別利益	計画			171	0	0	0	0	508	計画上の旧中央病院跡地管理換に加え、塩上町医師公舎の売却益や診療報酬再請求の過年度益が増加した。
	実績	72	335	679					344	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
費用計 (B)	計画			25,396	25,772	26,069	25,814	25,121	621	
	実績	25,074	26,035	26,017					△ 18	
医業費用 (B1)	計画			24,290	24,673	24,979	24,740	24,054	281	
	実績	23,109	24,078	24,571					493	
給与費	計画			11,485	11,942	12,282	12,324	12,010	85	
	実績	10,901	11,269	11,570					301	
退職給付費	計画			896	1,263	1,513	1,545	1,227	208	退職者の増(定年退職者+3名、勸奨退職者+2名、自己都合退職者+14名)、引当金+151百万円
	実績	778	1,135	1,104					△ 31	
退職給付費以外	計画			10,589	10,679	10,769	10,779	10,783	△ 123	定数内職員の減等による。
	実績	10,123	10,134	10,466					332	
材料費	計画			5,665	5,763	5,781	5,796	5,865	598	
	実績	5,649	5,962	6,263					301	
薬品費	計画			2,892	2,892	2,892	2,892	2,892	248	腫瘍用薬、高額な放射性医薬品の使用量が増加した。
	実績	2,892	3,103	3,140					37	
診療材料費	計画			2,717	2,813	2,831	2,846	2,915	362	電極カテーテル、心臓弁、整形インプラント(脊椎)、血管内手術用カテーテル等高額材料の使用量が増加した。
	実績	2,699	2,816	3,079					263	
経費	計画			4,742	4,533	4,453	4,371	4,291	△ 385	嘱託・臨時職員の減(△24人)に伴う報酬・賃金△206百万円、委託料△62百万円、光熱水費△73百万円
	実績	4,063	4,430	4,357					△ 73	
減価償却費	計画			2,187	2,227	2,252	2,036	1,599	△ 11	
	実績	2,178	2,219	2,176					△ 43	
その他医業費用	計画			211	208	211	213	289	△ 6	
	実績	318	198	205					7	
医業外費用 (B2)	計画			947	940	931	915	908	72	控除対象外消費税が+73百万円増加し、720百万円となった。
	実績	981	986	1,019					33	
特別損失	計画			159	159	159	159	159	268	診療材料の償還価格誤りに伴う診療報酬再請求等、過年度修正損が増加した。
	実績	984	971	427					△ 544	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 3,944	△ 4,101	△ 4,282	△ 3,933	△ 2,763	△ 149	
	実績	△ 3,357	△ 3,887	△ 4,093					△ 206	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,297	△ 1,090	△ 1,177	△ 1,211	79	△ 124	
	実績	△ 1,118	△ 1,258	△ 1,421					△ 163	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,285	△ 1,249	△ 1,336	△ 1,370	△ 80	116	
	実績	△ 2,030	△ 1,894	△ 1,169					725	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,268	1,190	1,130	1,305	758	375	現金支出を伴わない過年度修正損の増加により、留保資金が増加した。
	実績	2,045	2,136	1,643					△ 493	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			2,271	1,315	1,320	1,096	2,629	113	
	実績	1,041	1,774	2,384					610	
企業債	計画			872	424	306	470	1,883	209	感染症病棟整備事業について、他会計負担金からの財源振替えにより、増加した。
	実績	695	366	1,081					715	
長期借入金	計画			79	112	112	112	115	1	
	実績	53	61	80					19	
一般会計繰入金	計画			745	779	902	514	631	1	
	実績	270	707	746					39	
負担金	計画			745	778	885	497	607	1	
	実績	268	707	746					39	
補助金	計画			0	1	17	17	24	0	
	実績	2	0	0					0	
その他	計画			575	0	0	0	0	△ 98	感染症病棟整備事業について、他会計負担金から企業債への財源振替えにより、減少した。
	実績	23	640	477					△ 163	
支出計 (D)	計画			2,836	2,144	2,242	1,632	3,256	323	
	実績	1,364	2,029	3,159					1,130	
建設改良費	計画			1,339	576	459	622	2,038	319	H27からの予算繰越279百万円(感染症病棟整備事業分)により増加した。
	実績	823	606	1,658					1,052	
企業債償還金	計画			1,447	1,514	1,726	934	1,131	0	
	実績	471	1,360	1,447					87	
その他	計画			50	54	57	76	87	4	
	実績	70	63	54					△ 9	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 565	△ 829	△ 922	△ 536	△ 627	△ 210	
	実績	△ 323	△ 255	△ 775					△ 520	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 582	△ 888	△ 1,128	△ 601	51	281	
	実績	△ 308	△ 13	△ 301					△ 288	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

病院局

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
1. 良質な医療サービスの提供													
②医療の安全と質の向上													
7	認定看護師数	人	計画			21	23	25	27	29	△ 1	D	緩和ケア1名(中央)退職。H28受講の脳卒中リハ1名(中央)はH29に合格した。H29感染管理2名受講予定(中央、白鳥)。
			実績	19	21	20					△ 1		
8	医療安全研修受講率	%	計画			65.0	75.0	85.0	95.0	100.0	△ 17.1	D	早稲田大学大学院和田教授「コンフリクトマネジメント導入編」。医療対話促進や医療事故初期対応の重要性を学ぶ。
			実績	46.0	61.8	47.9					△ 13.9		
③患者サービスの向上													
11	患者満足調査による満足度(入院)	%	計画			87.0	88.0	89.0	89.5	90.0	1.0	B	前年度に続き、「入院中の食事」の満足度62%が最も低かったが、前年度57%から+5%の改善した。
			実績	87.0	86.0	88.0					2.0		
12	患者満足調査による満足度(外来)	%	計画			85.5	87.0	88.5	89.5	90.0	△ 1.5	C	前年度に続き、「あなたはこの病院を家族や友人・知人に紹介しますか」の満足度66%が最も低かった。
			実績	87.0	84.0	84.0					0.0		
2. 医療人材の確保・育成													
①医師の確保・育成													
18	医師充足率	%	計画			92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	4.3	B	医師確保について、関連大学に積極的に働きかけるとともに、施設・設備の充実に努めている。
			実績	87.6	91.9	96.3					4.4		
②医療スタッフの確保・育成													
20	新卒看護師の離職率	%	計画			14.0	12.5	11.0	9.5	8.5	△ 0.7	B	先輩看護師と業務を行う「ペア体制」を導入するなど、新人看護師教育に取り組んでいる。
			実績	14.1	19.6	13.3					△ 6.3		
3. 災害等への対応力の強化													
①大規模災害への対応力の強化													
23	業務継続計画(BCP)策定病院数	箇所	計画			3	3	3	3	3	0	A	丸亀、白鳥でBCPを策定し、3病院で出揃った。総務省BCPチェックリストを用いて自己評価を実施し、課題を抽出した。
			実績	1	1	3					2		
4. 安定的な病院経営の確立													
①経営力の強化													
27	経営会議・経営評価委員会の開催	回	計画	a.経営会議は12回、b.評価委員会は毎年1回開催							0	A	計画どおり開催し、経営状況を把握・分析するとともに、経営改善に努めた。
			実績	a.12、b.1	a.10、b.1	a.12、b.1					a.2、b.0		
28	職員提案からの実現件数(累計)	件	計画			20	40	60	80	100	0	B	提案総数52件、うち実施済み・実施中20件。災害時Wi-Fi環境整備、禁煙指導の充実、デイケア見学会など。
			実績	86	106	20					0		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

病院局

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
③費用の適正化													
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画			52.0	51.9	52.0	51.8	51.3	△ 0.9	A	計画を上回る医業収益の伸びに対し、定数内職員の不足により給与費(退職給付費を除く)が低減した。
			実績	51.3	50.2	51.1					0.9		
40	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画			56.4	58.0	59.3	59.2	56.4	0.1	E	退職給付費が計画以上に多かったことによる。
			実績	55.2	55.8	56.5					0.7		
41	経常収支比率	%	計画			94.9	95.7	95.5	95.3	100.3	△ 0.5	E	材料費が計画を上回って伸びたことによる。
			実績	95.4	95.0	94.4					△ 0.6		
42	医業収支比率	%	計画			83.8	83.4	82.9	84.1	88.5	△ 0.5	E	材料費が計画を上回って伸びたことによる。
			実績	85.5	83.9	83.3					△ 0.6		
43	材料費対医業収益比率	%	計画			27.8	28.0	27.9	27.9	27.5	2.8	E	材料費が計画を上回って伸びたことによる。
			実績	28.6	29.5	30.6					1.1		
44	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画			14.2	14.1	14.0	13.9	13.6	1.1	C	腫瘍用薬、高額な放射性医薬品の使用量が増加した。
			実績	14.6	15.4	15.3					△ 0.1		
45	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画			13.4	13.7	13.7	13.7	13.7	1.6	E	電極カテーテル、心臓弁、整形インプラント(脊椎)、血管内手術用カテーテル等の高額材料の使用量が増加した。
			実績	13.7	13.9	15.0					1.1		
④資金収支の改善													
46	単年度資金収支	百万円	計画			△ 582	△ 888	△ 1,128	△ 601	51	281	B	主に損益勘定留保資金が計画に比べ多かったことにより、計画に比べ資金収支が改善したものの。
			実績	△ 308	△ 13	△ 301					△ 288		

中期実施計画の主な取組み

中央病院

区分	平成28年度の主な取組み	平成29年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急入院体制運用の継続、院内掲示板を活用した緊急ベッド確保の情報提供 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器使用や共同利用の継続 クリニカルパスの作成数・適用率の向上 インシデント報告割合増加のための啓発活動の継続 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サービス、職員マナーの向上 外来待ち時間短縮の取組み <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座、出前講座等の開催 紹介医療機関数の増加のための紹介PR事業の継続 病院訪問による連携協力体制の維持・強化 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急入院体制運用の継続、院内掲示板を活用した緊急ベッド確保の情報提供 病院機能評価Ver3.1.1受審 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器使用や共同利用の継続 クリニカルパスの作成数・適用率の向上 インシデント報告割合増加のための啓発活動の継続 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サービス、職員マナーの向上 外来待ち時間短縮の取組み <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座、出前講座等の開催 紹介医療機関数の増加のための紹介PR事業の継続 病院訪問による連携協力体制の維持・強化
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各医療職養成機関からの実習受入れの継続 看護師養成機関への講師派遣などの協力態勢の継続 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師業務負担軽減推進のための医師負担軽減委員会の活動継続 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各医療職養成機関からの実習受入れの継続 看護師養成機関への講師派遣などの協力態勢の継続 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師業務負担軽減推進のための医師負担軽減委員会の活動継続 看護師負担軽減推進のための看護師負担軽減アンケートの実施
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の定期的実施 DMAT(災害派遣医療チーム)数の拡大 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症専門医による研修会の開催 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の定期的実施 DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症専門医による研修会の開催
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の募集による職員の経営参加 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな施設基準の取得 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術室原価管理システムの導入による材料使用等の適正化 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 ベンチマーク分析等を活用した適正価格交渉による材料費コストの適正化 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の募集による職員の経営参加 DPC分析ツールの活用 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな施設基準の取得 算定漏れ防止のための情報提供 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術室原価管理システムの導入による材料使用等の適正化 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 診療材料専門スタッフ常駐と全国共同購入による材料費削減

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差		計画差の要因、取組み等
									H28計画差	H28前年度差	
①収益的収支											
収益計 (A)	計画			19,601	19,937	20,069	19,736	20,316	929		
	実績	18,546	19,770	20,530					760		
医業収益 (A1)	計画			16,739	16,926	17,012	17,080	17,536	351		
	実績	16,232	16,754	17,090					336		
入院収益	計画			11,352	11,700	11,776	11,833	12,285	△ 160	平均在院日数の短縮に伴う延入院患者数の減(△4,010人)等による。	
	実績	10,973	11,129	11,192					63		
外来収益	計画			4,298	4,326	4,336	4,345	4,337	554	高額薬品の使用増、放射線治療患者数の増、高額手術件数の増加等に伴う単価の上昇(+1,110円)による。	
	実績	4,358	4,688	4,852					164		
その他医業収益	計画			1,089	900	900	902	914	△ 43		
	実績	901	937	1,046					109		
一般会計負担金	計画			419	223	223	223	223	△ 19	救急運営費のH27実績に基づく繰入額が、新中央病院移転後の対象経費等見直しにより、前年度に比べ増加した	
	実績	223	281	400					119		
その他	計画			670	677	677	679	691	△ 24	延入院患者数減による室料差額の減、検診センター検診者数減による医療相談収益の減による。	
	実績	678	656	646					△ 10		
医業外収益 (A2)	計画			2,691	3,011	3,057	2,656	2,780	76		
	実績	2,245	2,684	2,767					83		
一般会計繰入金	計画			1,291	1,487	1,487	1,487	1,487	12		
	実績	1,350	1,309	1,303					△ 6		
負担金	計画			1,289	1,485	1,485	1,485	1,485	12	未熟児医療にかかる繰入金が増加した。	
	実績	1,347	1,307	1,301					△ 6		
補助金	計画			2	2	2	2	2	0		
	実績	3	2	2					0		
長期前受金戻入	計画			932	1,021	1,067	666	790	3		
	実績	434	920	935					15		
その他医業外収益	計画			468	503	503	503	503	61	医薬品受託研究費、へき地医療支援センター管理運営委託費、損害賠償保険金が増加した。	
	実績	461	455	529					74		
特別利益	計画			171	0	0	0	0	502	計画上の旧中央病院跡地管理換に加え、塩上町医師公舎の売却益や診療報酬再請求の過年度益が増加した。	
	実績	69	332	673					341		

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
費用計 (B)	計画			20,639	20,903	21,124	20,873	20,282	611	
	実績	20,096	21,279	21,250					△ 29	
医業費用 (B1)	計画			19,718	19,988	20,216	19,979	19,392	264	
	実績	18,528	19,498	19,982					484	
給与費	計画			9,036	9,401	9,676	9,710	9,464	7	
	実績	8,517	8,811	9,043					232	
退職給付費	計画			708	998	1,195	1,221	970	169	
	実績	621	905	877					△ 28	
退職給付費以外	計画			8,328	8,403	8,481	8,489	8,494	△ 162	定数内職員の減等による。
	実績	7,896	7,906	8,166					260	
材料費	計画			4,892	4,949	4,962	4,971	5,036	582	
	実績	4,851	5,165	5,474					309	
薬品費	計画			2,496	2,496	2,496	2,496	2,496	234	腫瘍用薬や、放射性医薬品など高額薬剤使用量の増加による。
	実績	2,496	2,671	2,730					59	
診療材料費	計画			2,346	2,401	2,414	2,423	2,488	360	電極カテーテル、心臓弁、整形インプラント脊椎、人工血管など高額材料使用量の増加による。
	実績	2,303	2,456	2,706					250	
経費	計画			3,755	3,580	3,512	3,446	3,381	△ 318	嘱託・臨時職員の減(△19人)に伴う報酬・賃金の減、電気・ガス料金値下げによる光熱水費の減による。
	実績	3,111	3,492	3,437					△ 55	
減価償却費	計画			1,863	1,873	1,879	1,664	1,247	△ 2	
	実績	1,814	1,862	1,861					△ 1	
その他医業費用	計画			172	185	187	188	264	△ 5	
	実績	235	168	167					△ 1	
医業外費用 (B2)	計画			772	766	759	745	741	75	転嫁できない消費税病院負担など、その他雑損失の増加による。
	実績	792	814	847					33	
特別損失	計画			149	149	149	149	149	272	診療材料の償還価格誤りによる診療報酬再請求等、過年度修正損が増加した。
	実績	776	967	421					△ 546	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 2,979	△ 3,062	△ 3,204	△ 2,899	△ 1,856	87	
	実績	△ 2,296	△ 2,744	△ 2,892					△ 148	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,060	△ 817	△ 906	△ 988	183	88	
	実績	△ 843	△ 874	△ 972					△ 98	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,038	△ 966	△ 1,055	△ 1,137	34	318	
	実績	△ 1,550	△ 1,509	△ 720					789	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差		計画差の要因、取組み等
									H28前年度差		
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,019	950	909	1,086	548		379	
	実績	1,726	1,838	1,398						△ 440	
②資本的収支											
収入計 (C)	計画			1,707	986	1,062	870	2,412		122	
	実績	722	1,565	1,829						264	
企業債	計画			410	219	220	431	1,844		217	感染症病棟整備事業について、他会計負担金からの財源振替えにより、増加した。
	実績	503	233	627						394	
長期借入金	計画			64	94	95	95	97		2	
	実績	37	47	66						19	
一般会計繰入金	計画			658	673	747	344	471		1	
	実績	161	645	659						14	
負担金	計画			658	673	731	328	448		1	
	実績	161	645	659						14	
補助金	計画			0	0	16	16	23		0	
	実績	0	0	0						0	
その他	計画			575	0	0	0	0		△ 98	感染症病棟整備事業について、他会計負担金から企業債への財源振替えにより、減少した。
	実績	21	640	477						△ 163	
支出計 (D)	計画			2,180	1,706	1,825	1,233	2,877		331	
	実績	935	1,752	2,511						759	
建設改良費	計画			858	349	351	562	1,978		327	H27からの予算繰越279百万円(感染症病棟整備事業分)により増加した。
	実績	610	456	1,185						729	
企業債償還金	計画			1,285	1,316	1,432	611	828		0	
	実績	277	1,254	1,285						31	
その他	計画			37	41	42	60	71		4	
	実績	48	42	41						△ 1	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 473	△ 720	△ 763	△ 363	△ 465		△ 209	
	実績	△ 213	△ 187	△ 682						△ 495	
③単年度資金収支											
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 492	△ 736	△ 909	△ 414	117		488	
	実績	△ 37	142	△ 4						△ 146	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
1. 良質な医療サービスの提供													
①医療機能の充実													
1	救急車搬入患者数	人	計画			3,500	3,550	3,600	3,650	3,700	△ 96	E	予定手術の遅延や救急・ICUベッドの満床などにより、緊急手術対応困難となるケースの増加したことによる。
			実績	3,514	3,569	3,404					△ 165		
2	高額手術件数(10,000点以上)	件	計画			5,380	5,440	5,470	5,490	5,640	200	B	消化器内科(+107件)、循環器内科(+124件)、泌尿器科(+73件)などの増加による。
			実績	5,046	5,328	5,580					252		
②医療の安全と質の向上													
9	インシデント報告件数	件	計画			3,050	3,070	3,090	3,110	3,110	△ 16	D	報告推進啓発や医療安全研修を継続して実施する。
			実績	2,839	3,038	3,034					△ 4		
10	クリニカルパス適用率	%	計画			50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	0.0	B	パス評価・改善サイクルを継続する。
			実績	49.7	49.8	50.0					0.2		
③患者サービスの向上													
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間終期～診療開始)	分	計画			14	14	14	14	14	△ 5	A	電子カルテに待ち時間データ抽出機能を追加し、29年7月以降、本格導入。
			実績	14	15	9					△ 6		
④地域医療への貢献													
14	患者紹介率	%	計画			73.0	74.0	76.0	78.0	80.0	1.8	B	連携強化のための病院訪問により紹介医療機関数が増加した
			実績	62.8	73.7	74.8					1.1		
15	患者逆紹介率	%	計画			78.0	78.0	78.0	79.0	80.0	9.6	A	連携強化のための病院訪問により紹介医療機関数が増加した
			実績	71.1	80.7	87.6					6.9		
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			1,360	1,370	1,380	1,390	1,400	29	B	連携強化のための病院訪問による。
			実績	1,353	1,402	1,389					△ 13		
17	公開講座等開催回数	回	計画			22	22	22	22	22	△ 15	E	高松市保健センターやコミュニティセンターでの開催回数の減少による。
			実績	22	11	7					△ 4		
2. 医療人材の確保・育成													
①医師の確保・育成													
19	卒後臨床研修医充足率	%	計画			77.4	93.5	100.0	100.0	100.0	△ 6.4	E	採用数は1名増となったものの、採用枠が3名増となったことによる。
			実績	76.0	75.0	71.0					△ 4.0		
②医療スタッフの確保・育成													
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			500	500	500	500	500	15	A	母性看護実習が増加し、4西病棟で受入れが多かったもの。
			実績	501	470	515					45		
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			70	70	70	70	70	△ 6	D	27年度に受入超過で通常業務に支障となったため、受入人数を見直したことによる。
			実績	50	83	64					△ 19		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

中央病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
3. 災害等への対応力の強化													
①大規模災害への対応力の強化													
24	DMAT数(災害派遣医療チーム数)	チーム	計画			4	4	4	4	4	0	A	+1チーム編成のうえ、熊本地震においてDMAT派遣を2回実施。
			実績	3	3	4				1			
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			5	6	6	6	6	△2	E	同時開催の県総合防災訓練が台風来襲のため中止になったこと等による。
			実績	5	5	3				△2			
②感染症対策の推進													
26	感染症専門医による研修会開催件数	件	計画			2	2	2	2	2	7	A	感染症専門医常駐により、全体研修2回、研修医向け7回実施。
			実績	1	1	9				8			
4. 安定的な病院経営の確立													
②収益の確保													
29	稼働病床利用率	%	計画			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	△4.8	E	平均在院日数の短縮や新入院患者数の減による。
			実績	88.9	87.1	85.2				△1.9			
30	入院単価	円	計画			68,577	69,684	70,136	70,284	70,754	2,865	A	高額手術数の増、Ⅱ群適用(係数の増)に伴うDPC包括増など
			実績	67,197	69,270	71,442				2,172			
31	外来単価	円	計画			17,723	17,729	17,769	17,809	17,849	1,559	A	注射料の増、放射線治療の増。
			実績	17,198	18,172	19,282				1,110			
32	1日平均入院患者数	人	計画			454	460	460	460	476	△25	E	腎臓膠原病内科、消化器一般外科、血液内科、脳神経外科等で減。
			実績	447	439	429				△10			
33	1日平均外来患者数	人	計画			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	35	A	歯科口腔外科、小児科等で増。整形外科、循環器内科、肝臓内科等で減。
			実績	1,039	1,062	1,035				△26			
34	新入院患者数	人	計画			13,540	13,650	13,762	13,914	14,350	△329	C	消化器一般外科、脳神経外科、腎臓膠原病内科等で減。循環器内科、整形外科、小児科等で増。
			実績	13,166	13,075	13,211				136			
35	新外来患者数	人	計画			26,840	26,840	26,840	26,840	26,840	520	A	歯科口腔外科、小児科、心臓血管外科等で増。耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、消化器内科、整形外科等で減。
			実績	30,825	28,322	27,360				△962			
36	検診センター検診者数	人	計画			8,801	8,837	8,837	8,837	8,801	△1,335	E	特定がん検診△654人、PET-CT△51人。
			実績	9,050	8,061	7,466				△595			
37	平均在院日数	日	計画			11.9	11.9	11.9	11.8	11.8	△0.7	A	心カテなどの短期入院が比較的多い循環器内科の患者数増など。
			実績	11.8	11.7	11.2				△0.5			

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
③費用の適正化													
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	3.7	B	後発薬発売状況を常時チェックし、使用量の多い薬剤を中心に適切な切替を実施したことによる。
			実績	47.7	67.5	73.7					6.2		
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画			49.8	49.6	49.9	49.7	48.4	△ 2.0	A	医薬収益が計画値を上回る一方、給与費が定数内職員の欠員等で計画値を下回ったことによる。
			実績	48.6	47.2	47.8					0.6		
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画			54.0	55.5	56.9	56.9	54.0	△ 1.1	A	
			実績	52.5	52.6	52.9					0.3		
41	経常収支比率	%	計画			94.8	96.1	95.7	95.2	100.9	0.5	B	外来収益+554百万円、特別利益+502百万円、材料費+582百万円、経費▲318百万円
			実績	95.6	95.7	95.3					△ 0.4		
42	医薬収支比率	%	計画			84.9	84.7	84.2	85.5	90.4	0.6	B	入院収益▲160百万円、外来収益+554百万円、材料費+582百万円、経費▲318百万円
			実績	87.6	85.9	85.5					△ 0.4		
43	材料費対医薬収益比率	%	計画			29.2	29.2	29.2	29.1	28.7	2.8	E	
			実績	29.9	30.8	32.0					1.2		
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画			14.9	14.7	14.7	14.6	14.2	1.1	E	高額医薬品使用の増加
			実績	15.4	15.9	16.0					0.1		
45	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画			14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	1.6	E	高額手術件数の増加
			実績	14.2	14.7	15.8					1.1		

中期実施計画の主な取組み

丸亀病院

区分	平成28年度の主な取組み	平成29年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急・急性期医療の充実 専門外来の継続実施 訪問看護・デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全カンファレンス(1回/週)におけるインシデントレポートの共有 クリニカルパスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査(1回/年)の実施 外来待ち時間の短縮 病院のホームページをウェブアクセシビリティに対応した形式に移行 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開講座(1回/年)の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急・急性期医療の充実 専門外来の継続実施(児童・思春期、物忘れ外来をそれぞれ1日/週実施) 訪問看護、デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全カンファレンス(1回/週)におけるインシデントレポートの共有 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週ラウンド実施) クリニカルパスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査(1回/年)の実施 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 病院のホームページの充実 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開講座(1回/年)の開催
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連大学との連携強化 ホームページ掲載 人材紹介会社の活用 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレスチェックの実施 看護職員のワークライフバランスの推進 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレスチェック制度の円滑な実施 ワークライフバランスの取り組みの更なる推進
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画の策定と初動対応マニュアルの改定 防災訓練の実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の実施 運営会議(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師、事務職員、医事委託業者等と情報共有を図り、診療報酬請求漏れを防止 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食等委託業務契約事務の適正な執行 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の促進 運営会議(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師、事務職員、医事委託業者等と情報共有を図り、診療報酬請求漏れを防止 一般会計繰入金の見直し <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃等委託業務契約事務の適正な執行

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差		計画差の要因、取組み等
									H28計画差	H28前年度差	
①収益的収支											
収益計 (A)	計画			1,643	1,654	1,657	1,659	1,646		△ 48	
	実績	1,620	1,595	1,595						0	
医業収益 (A1)	計画			1,015	1,017	1,021	1,024	1,025		△ 43	
	実績	989	976	972						△ 4	
入院収益	計画			658	658	661	662	663		△ 13	前年度と比較すると入院患者数増加に伴い入院収益が増加したが、計画値には達しなかった。
	実績	642	623	645						22	
外来収益	計画			329	332	333	335	335		△ 30	デイケア患者数の減(前年度比:△1,520人)により、外来収益が減少した。
	実績	320	325	299						△ 26	
その他医業収益	計画			28	27	27	27	27		0	
	実績	27	28	28						0	
一般会計負担金	計画			17	16	16	16	16		0	
	実績	16	16	17						1	
その他	計画			11	11	11	11	11		0	
	実績	11	12	11						△ 1	
医業外収益 (A2)	計画			628	637	636	635	621		△ 5	
	実績	630	619	623						4	
一般会計繰入金	計画			561	562	562	562	562		△ 3	
	実績	572	565	558						△ 7	
負担金	計画			561	562	562	562	562		△ 3	看護学生の実習受入れ時間数の減により、看護師養成にかかる繰入金が増加した。
	実績	572	565	558						△ 7	
補助金	計画			0	0	0	0	0		0	
	実績	0	0	0						0	
長期前受金戻入	計画			32	36	35	34	20		0	
	実績	20	17	32						15	
その他医業外収益	計画			35	39	39	39	39		△ 2	県の委託料単価の削減に伴い、精神科救急医療システム整備事業関係の委託料が減少(△10百万円)した。
	実績	38	37	33						△ 4	
特別利益	計画			0	0	0	0	0		0	
	実績	1	0	0						0	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
費用計 (B)	計画			1,820	1,831	1,856	1,861	1,813	△ 33	
	実績	1,865	1,791	1,787					△ 4	
医業費用 (B1)	計画			1,775	1,785	1,811	1,816	1,768	△ 26	
	実績	1,757	1,753	1,749					△ 4	
給与費	計画			1,034	1,059	1,085	1,090	1,060	14	
	実績	990	1,054	1,048					△ 6	
退職給付費	計画			81	114	136	139	110	23	
	実績	68	100	104					4	
退職給付費以外	計画			953	945	949	951	950	△ 9	定数内職員の減等による。
	実績	922	954	944					△ 10	
材料費	計画			192	192	192	192	192	△ 7	
	実績	192	197	185					△ 12	
薬品費	計画			183	183	183	183	183	△ 5	外来患者数の減、薬価の改定や多剤投与の診療報酬減算により一部投薬内容を見直した影響による。
	実績	183	189	178					△ 11	
診療材料費	計画			6	6	6	6	6	△ 1	
	実績	6	6	5					△ 1	
経費	計画			437	420	416	410	402	△ 32	燃料費の減(新型ボイラー導入による燃費向上)。委託料の減(給食業務△8百万円)。
	実績	427	391	405					14	
減価償却費	計画			107	110	114	119	109	△ 2	
	実績	82	103	105					2	
その他医業費用	計画			5	4	4	5	5	1	
	実績	66	8	6					△ 2	
医業外費用 (B2)	計画			44	45	44	44	44	△ 6	その他雑損失の減による。
	実績	46	37	38					1	
特別損失	計画			1	1	1	1	1	△ 1	
	実績	62	1	0					△ 1	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 760	△ 768	△ 790	△ 792	△ 743	△ 17	
	実績	△ 768	△ 777	△ 777					0	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 176	△ 176	△ 198	△ 201	△ 166	△ 16	
	実績	△ 184	△ 195	△ 192					3	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 177	△ 177	△ 199	△ 202	△ 167	△ 15	
	実績	△ 245	△ 196	△ 192					4	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計画差の要因、取組み等	
									H28計画差	H28前年度差
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			77	76	81	88	92	△ 1	
	実績	64	91	76					△ 15	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			80	97	91	45	35	△ 7	
	実績	169	43	73					30	
企業債	計画			51	66	59	11	11	△ 7	B棟屋上防水工事の執行額が低減した。
	実績	153	33	44					11	
長期借入金	計画			7	6	5	5	5	0	
	実績	5	3	7					4	
一般会計繰入金	計画			22	25	27	29	19	0	
	実績	10	7	22					15	
負担金	計画			22	24	26	28	18	△ 1	
	実績	8	7	21					14	
補助金	計画			0	1	1	1	1	1	
	実績	2	0	1					1	
その他	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	1	0	0					0	
支出計 (D)	計画			104	123	120	75	56	△ 7	
	実績	177	52	97					45	
建設改良費	計画			61	75	68	19	19	△ 7	B棟屋上防水工事の執行額が低減した。
	実績	162	39	54					15	
企業債償還金	計画			40	45	48	51	32	0	
	実績	12	10	40					30	
その他	計画			3	3	4	5	5	0	
	実績	3	3	3					0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 24	△ 26	△ 29	△ 30	△ 21	0	
	実績	△ 8	△ 9	△ 24					△ 15	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 124	△ 127	△ 147	△ 144	△ 96	△ 16	
	実績	△ 189	△ 114	△ 140					△ 26	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
1. 良質な医療サービスの提供													
①医療機能の充実													
3	救急患者の受入れ数	人	計画			150	150	156	156	156	0	B	
			実績	149	144	150					6		
4	デイケア患者数	人	計画			7,500	7,550	7,550	7,600	7,600	△ 1,473	E	登録患者減少の影響(平均登録者数 27年度64人、28年度56人)。引き続き、入院患者に退院後の利用勧奨を行う。
			実績	7,218	7,547	6,027					△ 1,520		
5	訪問看護患者数	人	計画			1,050	1,050	1,100	1,100	1,100	△ 20	C	精神障害者の地域社会での生活維持のため、積極的に訪問看護を行っている。
			実績	1,053	1,002	1,030					28		
②医療の安全と質の向上													
9	インシデント報告件数	件	計画			400	400	420	440	450	△ 12	C	運用手順を作成・周知し、報告しやすくしたため前年度より改善したが、レベル0の報告件数が少なく計画値に達しなかった。今後は更に医療安全管理者が指導強化する。
			実績	546	360	388					28		
10	クリニカルパス適用率	%	計画			96.0	97.0	98.0	98.0	98.0	△ 6.8	E	パスの使用は定着している。転院などの入院患者はパスの対象とならないため、目標値を達成できなかった。パス適応患者は積極的にパスを活用していく。
			実績	94.5	99.3	89.2					△ 10.1		
③患者サービスの向上													
13	外来待ち時間の短縮 (受付時間～診療開始)	分	計画			15	15	15	15	15	△ 2.2	A	成27年2月の電子カルテ導入直後は入力操作に不慣れで時間を要したが、時間の経過に伴って改善されている。
			実績	19.2	15.1	12.8					△ 2.3		
④地域医療への貢献													
14	患者紹介率	%	計画			13.7	13.9	14.0	14.0	14.0	1.4	A	前年度と比較して紹介率が下がったのは救急搬送初診患者の減(19人⇒15人)による。
			実績	13.3	15.6	15.1					△ 0.5		
15	患者逆紹介率	%	計画			22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	1.4	A	
			実績	21.2	26.3	23.7					△ 2.6		
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			60	63	65	68	70	1	B	
			実績	69	68	61					△ 7		
17	公開講座等開催回数	回	計画			1	1	1	2	2	0	B	平成28年12月7日に「命の大切さ、輝き～自殺予防について～」をテーマに院長が講演を行った。
			実績	1	1	1					0		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

丸亀病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
2. 医療人材の確保・育成													
②医療スタッフの確保・育成													
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			290	290	290	290	290	6	A	計画どおり、看護学校等から学生の実習を受け入れた。引き続き学生実習に協力していく。
			実績	284	290	296					6		
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			13	15	15	15	15	6	A	28年度は精神保健福祉士など3職種の実習を受け入れた。引き続き学生実習に協力していく。
			実績	8	15	19					4		
3. 災害等への対応力の強化													
①大規模災害への対応力の強化													
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			11	11	11	11	11	0	A	計画どおり、基本的に毎月1回訓練を実施した。29年度も同様に様々な状況設定で訓練を実施する。
			実績	11	11	11					0		
4. 安定的な病院経営の確立													
②収益の確保													
29	稼働病床利用率	%	計画			74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	△ 2.7	C	前年度に比べて入院患者数は増加したものの、計画値には達しなかった。
			実績	72.9	70.0	71.7					1.7		
30	入院単価	円	計画			15,550	15,549	15,599	15,599	15,649	246	A	急性期治療病棟入院料算定患者の増及び鑑定入院料算定増(28年度 延131人)による。
			実績	15,467	15,564	15,796					232		
31	外来単価	円	計画			9,950	9,993	10,042	10,092	10,142	56	B	診療単価の低いデイケア患者数が減少したため、計画より単価が上がった。
			実績	9,856	10,312	10,006					△ 306		
32	1日平均入院患者数	人	計画			116	116	116	116	116	△ 4	C	前年度に比べて入院患者数は増加したものの、計画値には達しなかった。
			実績	114	109	112					3		
33	1日平均外来患者数	人	計画			136	136	136	136	136	△ 13	E	デイ・ケア利用者数の減による。
			実績	133	130	123					△ 7		
34	新入院患者数	人	計画			186	192	192	192	192	△ 19	D	
			実績	164	172	167					△ 5		
35	新外来患者数	人	計画			618	624	624	624	624	△ 81	E	
			実績	843	611	537					△ 74		
37	平均在院日数	日	計画			228.6	221.5	221.5	222.1	221.5	14.4	D	延入院患者数の増と入院患者数の減により、計画値より日数が長くなった。
			実績	253.2	227.2	243.0					15.8		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
③費用の適正化													
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			33.0	32.0	32.0	34.0	35.0	2.6	A	28年度は、後発医薬品の採用数は変わらないが使用量が増加したため計画値を上回った。
			実績	31.5	36.2	35.6					△ 0.6		
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画			93.9	92.9	92.9	92.9	92.7	3.2	C	退職給付費を除く給与費は計画値を下回ったものの医薬収益が計画値に達しなかったため。
			実績	93.2	97.7	97.1					△ 0.6		
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画			101.9	104.1	106.3	106.4	103.4	5.9	C	
			実績	100.1	108.0	107.8					△ 0.2		
41	経常収支比率	%	計画			90.3	90.4	89.3	89.2	90.8	△ 1.0	C	医薬費用は計画値を下回ったものの医薬収益が計画値に達しなかったため。
			実績	89.8	89.1	89.3					0.2		
42	医薬収支比率	%	計画			57.2	57.0	56.4	56.4	58.0	△ 1.6	E	医薬費用は計画値を下回ったものの医薬収益が計画値に達しなかったため。
			実績	56.3	55.7	55.6					△ 0.1		
43	材料費対医薬収益比率	%	計画			18.9	18.9	18.8	18.8	18.7	0.1	C	
			実績	19.4	20.2	19.0					△ 1.2		
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画			18.0	18.0	17.9	17.9	17.9	0.3	C	薬品費は下がったものの医薬収益が計画値に達しなかったため。
			実績	18.5	19.4	18.3					△ 1.1		
45	うち 診療材料費医薬収益比率	%	計画			0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	△ 0.1	A	
			実績	0.6	0.6	0.5					△ 0.1		

中期実施計画の主な取組み

白鳥病院

区分	平成28年度の主な取組み	平成29年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 専門外来の新設(神経内科外来、泌尿器科外来の開設) 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供(化学療法件数 548件) <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報用フェイスブックの開設、ホームページによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催、手術体験キッズセミナーの実施 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 泌尿器科の開設による地域の医療需要への対応 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 地域包括ケア病床の開設 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催、手術体験キッズセミナーの実施
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療スピリット、体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画(BCP)の作成、救急救命士の院内実習の受入 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画(BCP)に基づく防災訓練の実施、救急救命士の院内実習の受入 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ対応マニュアル改定、シミュレーション さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門外来の新設(神経内科外来、泌尿器科外来の開設)(再掲) 新たな施設基準取得(総合評価加算、後発医薬品使用体制加算1) 人間ドックオプション検査の積極的な広報 <ul style="list-style-type: none"> メタボ教育入院クリニカルパス開始 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減(後発医薬品割合74.0%(数量ベース)) 業務執行の効率化のため電子カルテを更新・改修 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 泌尿器科の開設による地域の医療需要への対応(再掲) 地域包括ケア病床の開設による病床稼働率の向上 人間ドックオプション検査の積極的な広報 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差		計画差の要因、取組み等
									H28前年度差		
①収益の収支											
収益計 (A)	計画			2,867	2,932	3,007	3,049	3,079		△ 144	
	実績	2,878	2,776	2,723						△ 53	
医業収益 (A1)	計画			2,592	2,629	2,664	2,703	2,730		△ 176	
	実績	2,531	2,461	2,416						△ 45	
入院収益	計画			1,606	1,640	1,675	1,714	1,744		△ 134	計画に比べ延患者数△2,621人、診療単価△532円となった。
	実績	1,601	1,487	1,472						△ 15	
外来収益	計画			861	864	864	864	861		△ 42	計画に比べ延患者数△6,149人となった。
	実績	805	847	819						△ 28	
その他医業収益	計画			125	125	125	125	125		0	
	実績	125	127	125						△ 2	
一般会計負担金	計画			50	50	50	50	50		1	
	実績	50	52	51						△ 1	
その他	計画			75	75	75	75	75		△ 1	
	実績	75	75	74						△ 1	
医業外収益 (A2)	計画			275	303	343	346	349		26	
	実績	345	312	301						△ 11	
一般会計繰入金	計画			183	183	183	183	183		21	
	実績	205	217	204						△ 13	
負担金	計画			183	183	183	183	183		21	パート医師確保にかかる経費の増加に伴い、繰入金が増加した。
	実績	205	217	204						△ 13	
補助金	計画			0	0	0	0	0		0	
	実績	0	0	0						0	
長期前受金戻入	計画			72	92	132	135	138		1	
	実績	108	65	73						8	
その他医業外収益	計画			20	28	28	28	28		4	
	実績	32	30	24						△ 6	
特別利益	計画			0	0	0	0	0		6	レセプトの返戻の再請求による。
	実績	2	3	6						3	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

白鳥病院
(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差		計画差の要因、取組み等
									H28前年度差		
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			172	164	140	131	118		△ 3	
	実績	211	207	169						△ 38	
②資本的収支											
収入計 (C)	計画			484	232	167	181	182		△ 2	
	実績	150	166	482						316	
企業債	計画			411	139	27	28	28		△ 1	
	実績	39	100	410						310	
長期借入金	計画			8	12	12	12	13		△ 1	
	実績	11	11	7						△ 4	
一般会計繰入金	計画			65	81	128	141	141		0	
	実績	99	55	65						10	
負担金	計画			65	81	128	141	141		0	
	実績	99	55	65						10	
補助金	計画			0	0	0	0	0		0	
	実績	0	0	0						0	
その他	計画			0	0	0	0	0		0	
	実績	1	0	0						0	
支出計 (D)	計画			552	315	297	324	323		△ 1	
	実績	252	225	551						326	
建設改良費	計画			420	152	40	41	41		△ 1	
	実績	51	111	419						308	
企業債償還金	計画			122	153	246	272	271		0	
	実績	182	96	122						26	
その他	計画			10	10	11	11	11		0	
	実績	19	18	10						△ 8	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 68	△ 83	△ 130	△ 143	△ 141		△ 1	
	実績	△ 102	△ 59	△ 69						△ 10	
③単年度資金収支											
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			34	△ 25	△ 72	△ 43	30		△ 191	
	実績	△ 82	△ 41	△ 157						△ 116	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

白鳥病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
1. 良質な医療サービスの提供													
①医療機能の充実													
1	救急車搬入患者数	人	計画			935	940	945	945	950	△ 101	E	大川地区管内へ搬送される患者が減少し、管外への搬送数が増加した。当院への搬送は可能な限り受け入れている。
			実績	914	940	834					△ 106		
2	高額手術件数(6,000点以上)	件	計画			980	1,010	1,040	1,070	1,100	△ 14	E	手術件数総数及び内科高額手術件数は増加したが、対象となる患者数が少なかったことから外科高額手術件数が減少した。
			実績	1,037	993	966					△ 27		
5	訪問看護患者数	人	計画			600	600	600	600	600	10	A	
			実績	441	567	610					43		
6	訪問診療患者数	人	計画			265	266	267	268	270	100	A	他院から訪問診療患者の紹介があるなど、高齢化による地域のニーズが高まっている。
			実績	271	254	365					111		
②医療の安全と質の向上													
9	インシデント報告件数	件	計画			440	460	490	520	550	△ 122	E	H27の転倒予防への集中的な取り組みにより、インシデント自体が減少した。レベル0(46件)の報告意識が低いため、医療安全推進委員会でレベル0でも報告するよう周知した。
			実績	468	377	318					△ 59		
10	クリニカルパス適用率	%	計画			46	46	46	46	46	△ 4.8	D	①患者の高齢者率が高く、肺炎や心不全などのパスを適用できないケースが多かった。②急性期病院からの受け入れ等、パスを適用できない転院患者が103名となった。
			実績	41	46	41.2					△ 4.8		
③患者サービスの向上													
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間始期～診療開始)	分	計画	-		48.0	46.0	44.0	42.0	40.0	△ 10.0	A	患者サービス向上委員会にて、待ち時間調査を診療科ごとに2回実施し、結果を分析のうえ対策を実施した。
			実績		50.0	38.0					△ 12.0		
④地域医療への貢献													
14	患者紹介率	%	計画			22.0	22.3	22.6	22.8	23.0	△ 0.2	C	
			実績	22.4	21.6	21.8					0.2		
15	患者逆紹介率	%	計画			14.0	14.8	15.6	16.4	17.3	1.2	B	
			実績	14.3	13.5	15.2					1.7		
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			225	230	235	240	245	35	A	県内他院を訪問し、連携を進めたため。また、肛門疾患・排便障害外来等について、県内他院に周知案内をした。
			実績	232	218	260					42		
17	公開講座等開催回数	回	計画			16	16	16	16	16	△ 1	C	
			実績	13	14	15					1		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

白鳥病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
2. 医療人材の確保・育成													
②医療スタッフの確保・育成													
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			43	43	44	45	46	3	A	
			実績	46	43	46					3		
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			14	14	14	14	14	0	A	
			実績	11	14	14					0		
3. 災害等への対応力の強化													
①大規模災害への対応力の強化													
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			3	4	4	4	4	△ 1	D	院外機関が主催する訓練が1件減った。今後、BCP策定に伴う訓練を検討する。
			実績	1	3	2					△ 1		
4. 安定的な病院経営の確立													
②収益の確保													
29	稼働病床利用率	%	計画			62.5	65.0	67.5	70.0	71.3	△ 1.3	E	平均在院日数の減などにより、延患者数が計画想定数より少なくなった。H29年度から地域包括ケア病床を開設し、利用率の向上につなげる。
			実績	66.1	61.4	61.2					△ 0.2		
30	入院単価	円	計画			44,453	44,502	44,552	44,602	44,652	△ 532	E	2万円以上の高額手術件数が382件(前年度から33件減)と少なかった。
			実績	44,254	44,089	43,921					△ 168		
31	外来単価	円	計画			7,873	7,873	7,873	7,873	7,873	61	A	
			実績	7,346	8,039	7,934					△ 105		
32	1日平均入院患者数	人	計画			99	101	103	105	107	△ 7	E	平均在院日数はほぼ計画想定どおりだったものの、新入院患者数が計画想定より少なかった。
			実績	99	92	92					△ 0		
33	1日平均外来患者数	人	計画			450	450	450	450	450	△ 25	E	①医師数が内科で前年度より1名減少した。②整形外科において早期に治療が終わる患者が多く再来数が少なかった。
			実績	449	434	425					△ 9		
34	新入院患者数	人	計画			2,168	2,200	2,232	2,264	2,300	△ 17	E	医師数が内科で1名減少した。
			実績	2,244	2,178	2,151					△ 27		
35	新外来患者数	人	計画			11,460	11,570	11,680	11,790	11,900	△ 412	E	医師数が内科で1名減少した。
			実績	11,678	11,488	11,048					△ 440		
37	平均在院日数	日	計画			15.4	15.3	15.2	15.1	15.0	0.1	C	
			実績	16.0	15.5	15.5					0.0		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

(太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差 H28前年度差	評価 H28	計画差の要因、取組み等
③費用の適正化													
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			68.0	70.0	73.0	77.0	80.0	6.0	B	H32目標値に向け、可能な範囲で後発医薬品を使用するようにしているため。
			実績	63.6	68.9	74.0					5.1		
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画			50.5	50.6	50.3	49.5	49.0	5.6	E	患者数の減などにより医薬収益が少なくなったほか、定数内職員の不足による超勤費の増などにより人件費が計画想定より大きくなったため。
			実績	51.6	51.8	56.1					4.3		
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画			54.6	56.4	57.1	56.4	54.4	6.6	E	
			実績	55.1	57.0	61.2					4.2		
41	経常収支比率	%	計画			97.9	96.8	97.6	99.3	102.1	△ 6.5	E	患者数の減などにより医薬収益が少なくなったほか、人件費・材料費などの医薬費用が計画想定より大きくなったため。
			実績	96.9	93.6	91.4					△ 2.2		
42	医薬収支比率	%	計画			92.7	90.7	90.2	91.8	94.3	△ 7.6	E	患者数の減などにより医薬収益が少なくなったほか、人件費・材料費などの医薬費用が計画想定より大きくなったため。
			実績	89.6	87.1	85.1					△ 2.0		
43	材料費対医薬収益比率	%	計画			22.4	23.7	23.5	23.4	23.3	2.6	E	患者数の減などにより医薬収益が少なくなったほか、効果的な化学療法の実施に伴い、高額な抗がん剤の使用量が増加した結果、薬品費が計画想定より大きくなったため。
			実績	23.9	24.4	25.0					0.6		
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画			8.2	8.1	8.0	7.9	7.8	1.4	C	化学療法の実施により薬品費が高くなっているが、後発医薬品の採用拡大や薬品使用の効率化により前年度より改善している。
			実績	8.4	9.9	9.6					△ 0.3		
45	うち 診療材料費医薬収益比率	%	計画			15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	△ 0.2	A	
			実績	15.4	14.4	15.2					0.8		